＼よくわかる！／

病害虫防除マニュアル

きゅうり編

そーだ、
にほんそーだに
そーだんしよう！

日本曹達株式会社

適期の薬剤散布がポイント!きゅうり作り に、日曹の製品がお役に立ちます。

〔 〕RACコード
ハウスで使用するくん煙剤

土壌病害・センチュウには…

バスアミド® 微粒剤

適用病害虫名など	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
苗立枯病（ピシウム菌） 苗立枯病（リゾクトニア菌）	200～400g/m³	は種 又は 定植21日前/1回	所定量を加え十分混和
つる割病、半身萎凋病 白絹病、一年生雑草	20～30kg/10a		所定量を均一に散布後土壌と混和

キルパー®

適用病害虫名など	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
つる割病、一年生雑草	40～60ℓ/10a	は種 又は 定植15日前/1回	※A･B･C
ネコブセンチュウ			※C
苗立枯病（リゾクトニア菌）	60ℓ/10a		※A
前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類 又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止	60ℓ/10a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで但し、は種又は定植の15日前まで/1回	※B
前作のきゅうりのホモプシス根腐病蔓延防止			
前作のきゅうりのコナジラミ類蔓延防止			
前作のきゅうりの褐斑病、つる枯病蔓延防止			※D
前作の野菜類 又は花き類・観葉植物のアザミウマ類蔓延防止			※B
前作の野菜類 又は花き類・観葉植物の古株枯死	40～60ℓ/10a		※B･D

※A 散布混和：所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
※B 希釈散布/灌水：あらかじめ被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
※C 注入：所定量の薬液を土壌中約15㎝の深さに注入し、直ちに被覆または覆土・鎮圧する。
※D 所定量の薬液を水で希釈し、土壌表面に散布または灌水する。

生育期～収穫期の病害には･･･

適用病害名	製品名	希釈倍数または使用量	使用時期／使用回数	その他の適用病害
灰色かび病	ベルクートフロアブル〔M7〕※1	2000倍	前日/7回	褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病
	ミギワ10フロアブル〔52〕	1000倍	前日/3回	炭疽病、つる枯病
	ゲッター水和剤〔10,1〕	1500倍	前日/5回	炭疽病、菌核病
	フルピカフロアブル〔9〕※1	2000～3000倍	前日/4回	褐斑病、うどんこ病
	フルピカくん煙剤〔9〕	50g/500m³	前日/4回	うどんこ病
	ブロードワン顆粒水和剤〔1,9〕	1500倍	前日/4回	菌核病
うどんこ病	ベルクートフロアブル〔M7〕※1	2000倍	前日/7回	褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病
	パンチョTF顆粒水和剤〔U6,3〕	2000倍	前日/2回	―
	トリフミン水和剤〔3〕	3000～5000倍	前日/5回	黒星病、つる枯病（3000倍）
	トリフミンジェット〔3〕	50g/400m³	前日/5回	―
	ダコニールジェット〔M5〕	20g/100m³	前日/8回	べと病
	パンチョTFジェット〔U6,3〕	50g/400m³	前日/2回	―
べと病	ピシロックフロアブル〔U17〕※3	1000倍	前日/3回	―
	ベトファイター顆粒水和剤〔27,40〕	2000～3000倍	前日/3回	―
	ストロビーフロアブル〔11〕	3000倍	前日/3回	うどんこ病、炭疽病、褐斑病
	エトフィンフロアブル〔22〕	1000倍	前日/4回	―
褐斑病	ゲッター水和剤〔10,1〕	1500倍	前日/5回	炭疽病、菌核病
	カンタスドライフロアブル〔7〕	1500倍	前日/3回	灰色かび病、菌核病（1000～1500倍）
菌核病	トップジンM水和剤〔1〕	1500～2000倍	前日/5回	※2
	ファンタジスタ顆粒水和剤〔11〕	2000～3000倍	前日/3回	灰色かび病
	ミギワ10フロアブル〔52〕	1000倍	前日/3回	炭疽病、つる枯病

※1：常温煙霧登録あり　※2：黒星病、炭疽病、つる枯病、うどんこ病、灰色かび病　※3：うり類登録

土壌消毒 → 定植期 → 生育期（本圃での散布） → 収穫期

定植期の害虫には…

モスピラン® 粒剤〔4A〕

適用害虫名	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
アブラムシ類	0.5～1g/株	定植時/1回	株元散布
	0.5g/株	定植後、但し収穫30日前/1回	

アベイル® 粒剤〔4A、28〕

適用害虫名	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ウリハムシ	2g/株	育苗期後半～定植当日/1回	株元散布

ベリマーク® SC〔28〕

適用害虫名	使用量 薬量	使用量 希釈水量	使用時期／使用回数	使用方法
アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	400株当り25㎖	400株当り 10～20ℓ（1株当り25～50㎖）	育苗期後半～定植当日/1回	灌注
アブラムシ類		400株当り 2～20ℓ（1株当り5～50㎖）		
		400株当り 20～200ℓ（1株当り50～500㎖）	定植直後/1回	株元灌注
アザミウマ類		400株当り 20ℓ（1株当り50㎖）		

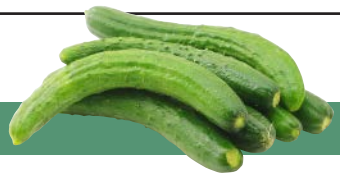
（注意:定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計1回以内）

生育期～収穫期の害虫には･･･

適用害虫名	製品名	希釈倍数または使用量	使用時期／使用回数	その他の適用害虫
アブラムシ類	マブリックジェット〔3A〕	50g/400m³	前日/2回	―
アブラムシ類 コナジラミ類	モスピラン顆粒水溶剤〔4A〕	2000～4000倍※3	前日/3回	ウリハムシ（4000倍）
	スカウトフロアブル〔3A〕（オンシツコナジラミ登録）	2000～3000	前日/4回	オンシツコナジラミ（3000倍）
	モスピランジェット〔4A〕	50g/400m³	前日/3回	―
ミナミキイロアザミウマ	モスピラン顆粒水溶剤〔4A〕（アザミウマ類登録）	2000～4000倍	前日/3回	ウリハムシ（4000倍）
	コテツフロアブル〔13〕（ミカンキイロアザミウマも登録）	2000倍	前日/3回	ウリハムシ
	モスピランジェット〔4A〕	50g/400m³	前日/3回	―
ウリノメイガ	モスピラン顆粒水溶剤〔4A〕	2000倍	前日/3回	ウリハムシ（4000倍）
	コテツフロアブル〔13〕	2000倍	前日/3回	ウリハムシ
	フェニックス顆粒水和剤〔28〕	2000～4000倍	前日/3回	ハスモンヨトウ
ハダニ類	ダニオーテフロアブル〔33〕	2000倍	前日/2回	―
	ニッソラン水和剤〔10A〕	2000～3000倍	前日/2回	―
	コテツフロアブル〔13〕	2000倍	前日/3回	ウリハムシ
	ピラニカEW〔21A〕	2000～3000倍	前日/1回	アブラムシ類（2000倍）
	マブリックジェット〔3A〕	50g/400m³	前日/2回	―
	テルスタージェット〔3A〕	48g/400m³	前日/3回	―

※3：コナジラミ類は2000倍

◎薬剤使用の際は、登録内容を確認の上、登録使用基準を遵守してください。　◎本資料は、2025年4月現在の登録に基づいて作成しています。



きゅうり病害虫図鑑

病害

【灰色かび病 *Botrytis cinerea*】

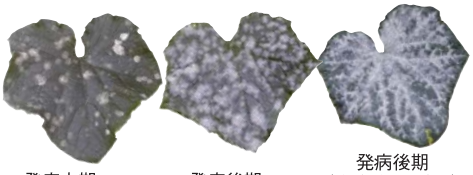
病斑上の病原菌や、地表面に菌核として残った病原菌が、伝染源となる。次期作では、そこから胞子を飛散して伝染する。

灰色のかびが密生する　発病幼果　発病茎

適用薬剤 ミギワ10フロアブル、ブロードワン顆粒水和剤 など

【うどんこ病 *Golovinomyces cucurbitacearum, Leveillula taurica, Podosphaera xanthii*】

うり類が周年栽培される地域では、次々に伝染が繰り返される。晩秋に子のう殻が形成され、翌年の伝染源となる。やや乾燥した条件で発生しやすい。



発病中期　発病後期　発病後期（葉脈に沿った病斑）

適用薬剤 パンチョTF顆粒水和剤、ベルクートフロアブル など

【べと病 *Pseudoperonospore cubensis*】

病原菌は発病葉で越冬する。きゅうりの周年栽培されている地域では、常時胞子が飛散しているため発生しやすい。葉に葉脈で区切られた多角形の黄色病斑を生じる。

発病初期　発病中期　発病後期

適用薬剤 ピシロックフロアブル、ベトファイター顆粒水和剤 など

【褐斑病 *Corynespora cassiicola*】

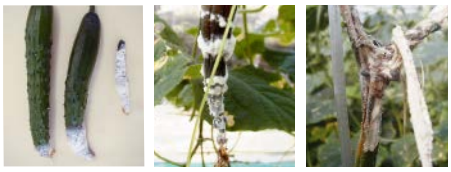
発病茎葉や農業資材などに付着した病原菌が、長期に生存して伝染源となる。葉に黄褐色の円形小斑点を生じ、後に同心円紋の大型病斑を生じる。

小型病斑　小型・大型混在病斑　発病後期

適用薬剤 ゲッター水和剤 など

【菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*】

地表面に落ちた菌核が伝染源となる。次期作では、そこから胞子が飛散して伝染する。果実、茎、葉に白色綿状のかびを形成し、後にネズミ糞状の菌核を生じる。



被害程度の異なる発病果　発病果に生じた菌核　発病茎に生じた菌核

適用薬剤 トップジンM水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤 など

【炭疽病 *Colletotrichum orbiculare*】

病原菌は発病茎葉や支柱に付着して越冬し、翌年の伝染源となる。葉に淡褐色の円形病斑を生じる。葉の病斑は内部がへこみ、穴が空きやすい。果実にも窪んだ病斑を生じる。

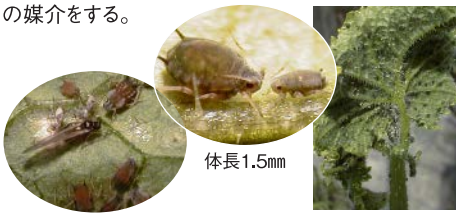
発病初期　発病中期　発病後期

適用薬剤 ミギワ10フロアブル、ゲッター水和剤 など

害虫

【ワタアブラムシ *Aphis gossypii*】

葉や果実からの吸汁により、作物の生育が抑制。果実への寄生による品質低下を招き、モザイク病の媒介をする。



体長1.5㎜

有翅成虫と無翅成虫　新葉の寄生状況

適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【オンシツコナジラミ *Trialeurodes vaporariorum*】

幼虫および成虫の葉からの吸汁により、作物の生育が抑制。排泄物によってすす病が発生、黄化病の媒介をする。

3齢幼虫（0.5㎜）と4齢幼虫（0.8㎜）

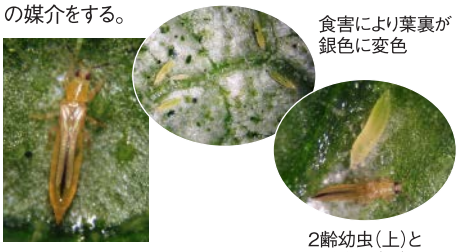
成虫（全長1.5㎜）

オンシツコナジラミの排泄物によるすす病

適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【ミナミキイロアザミウマ *Thrips palmi*】

幼虫および成虫が、葉および果実を食害。黄化えそ病の媒介をする。



食害により葉裏が銀色に変色

雌成虫（体長1.2㎜）　2齢幼虫（上）と雄成虫（下）

適用薬剤 コテツフロアブル など

【ワタヘリクロノメイガ（ウリノメイガ） *Diaphania indica*】

幼虫により、葉や果実・茎が食害される。

若齢幼虫（体長4㎜）　老齢幼虫（体長16㎜）　成虫（体長15㎜）

適用薬剤 コテツフロアブル など

【ナミハダニ *Tetranychus urticae*】

加害により、葉の表面に白点を生じ、増殖すると葉が萎縮し枯れる。

多発し巣網が張られた葉

卵（直径0.15㎜）、第1若虫（0.25㎜）、第2若虫（0.35㎜）　成虫（体長0.5㎜）　被害葉

適用薬剤 ダニオーテフロアブル、コテツフロアブル など

【ハスモンヨトウ *Spodoptera litura*】

幼虫により、葉および果実が食害される。

中齢幼虫（体長13㎜）　老齢幼虫（体長20㎜）　幼虫による被害果

卵塊

雄成虫（前翅長18㎜）　雌成虫（前翅長20㎜）　幼虫による被害葉

適用薬剤 フェニックス顆粒水和剤 など

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。

日本曹達株式会社
〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
お問合せ（03）4212-9655
（平日9～12時、13～17時、土日祝日を除く）
HPはこちらから

NO.457-2504CC